

葛飾区まちづくりシンポジウム

－ 区民が主役のまちづくり －

開催報告

平成 27 年 1 月 18 日（日）、男女平等推進センター（立石 5-27-1）において、区民の皆様と行政とのパートナーシップによるまちづくりを広げていくことを目的に「葛飾区まちづくりシンポジウム」を開催いたしました。

「区民が主役のまちづくり」をテーマにした基調講演や、まちづくり活動を実践している区民の方をお招きしたパネルディスカッションを実施するとともに、「葛飾区都市計画マスタープラン」に基づくまちづくりの進捗状況について報告を行いました。

当日は、70 名の方々にご参加いただきました。

【プログラム】

- 1 あいさつ
青木克徳 / 葛飾区長
- 2 基調講演「区民が主役のまちづくり」
柳沢厚氏 / NPO 法人日本都市計画家協会理事
- 3 都市計画マスタープランに基づくまちづくりの進捗報告
- 4 パネルディスカッション
- 5 閉会

1 あいさつ 青木克徳 / 葛飾区長

開会にあたり、区長よりご挨拶をいただきました。



会場の様子



青木区長

2 基調講演 「区民が主役のまちづくり」

柳沢厚氏／NPO 法人日本都市計画家協会理事

柳沢厚氏より、「区民が主役のまちづくり」というタイトルで基調講演をいただきました。

<基調講演の概要>

全体を通じて、「市民の活動と行政の都市計画（まちづくり）の接点」がテーマとなったお話で、はじめに市民が都市計画に接する場面は次の6つであると指摘されました。

- ①居住環境の変化に対する問題意識がきっかけとなるケース
- ②自分たちのまちの様子に関心をもって活動につながるケース
- ③町内会活動等を通して広がるケース
- ④まちのルールづくり等に関わるケース
- ⑤行政が推進する事業等に地域側として関わるケース
- ⑥コミュニティビジネスのような形で関わるケース

次に、現代の都市計画は、物質的な豊かさである生活満足度の向上、精神的な豊かさを充足する都市アイデンティティの確立及び地球環境問題の3つのテーマを意識してまちづくりを進めていくことが必要であることを示唆されました。そして、都市計画マスタープランは行政内部の情報共有の手段であったが、昨今は市民同士や市民と行政とがまちづくりに関する目標や情報、価値観を



柳沢 厚氏

共有するための接点としての役割を担っているとのお話がありました。また、マスタープランを生かしていくためには、区民と行政が連携しながらその趣旨を具体化するためのプロジェクトに取り組むことが重要であるとのお話がありました。

後半では、河川と大公園に恵まれ、曲りくねった道路が多い葛飾区において、遊びと健康づくりの場所として、歩く空間の充実＝アイデンティティを育む「葛飾区街中（まちじゅう）快適歩行都市」の実現に取り組んでみてはどうかというご提案をいただきました。

3 都市計画マスタープランに基づくまちづくりの進捗報告

都市整備部街づくり調整課

葛飾区都市計画マスタープランの改定から3年目を迎えるにあたり、これまでの都市計画マスタープランに基づくまちづくりの進捗等について、11の方針ごとに報告を行いました。

4 パネルディスカッション

明治大学大学院特任教授 中林 一樹先生にコーディネーターを務めていただき、「区民が主役のまちづくり」をテーマとしてパネルディスカッションを行いました。

□コーディネーター

中林 一樹氏 / 明治大学大学院政治経済学研究科特任教授

□パネリスト

柳沢 厚氏 / NPO 法人日本都市計画家協会理事

関 一男氏 / 新小岩駅南口地区再開発推進協議会会長

高橋 哲男氏 / 東立石四丁目まちづくり協議会事務局次長

泉山 省吾 / 葛飾区都市整備部街づくり計画担当課長

パネルディスカッションでは、最初に、関氏から新小岩駅南口地区再開発推進協議会の取組み、高橋氏から東立石四丁目まちづくり協議会の取組みについてご紹介をいただきました。

その後、中林先生から「まちづくり活動で達成感を感じることは？」
「活動を続けていく上でのヒントは？」とのご質問がありました。

関氏からは、具体的なまちづくりはこれからなので、「自分たちだけでなく子どもや孫たちが“住んで良かった”と感じるまちづくりをしないといけないと考えている」「中身のあまるまちをつくるためにも時間をかけて丁寧に進めていきたい」というお話がありました。

また、高橋氏からは「時間はかかるが、自分たちが検討してきた結果が動き出し、成果として見えてくると“やってきて良かった”と感じる」「検討が進んである程度形が見えてくると、会からどんどん人がいなくなっていく。絶えず関心を持ってもらうために地域の皆さんに活動を知ってもらう必要がある」というお話がありました。



パネルディスカッションの様子



中林 一樹先生



関 一男氏



高橋 哲男氏

最後に中林先生から、「区民が主役のまちづくりは今後も求められる傾向にある。ただ、区民だけでまちづくりを行うことには限界がある。区民が主役だが、行政がそのパートナーとなる関係づくりが大事である」「空間的に素晴らしいまちをつくるのと同時に、人のつながりをはじめとする精神的な充足を感じられるまちづくりを進めましょう」とのまとめのお話しをいただきました。

お問い合わせ先

葛飾区 都市整備部 街づくり調整課 街づくり計画担当係 担当 鈴木・目黒
電話：03-5654-8372 FAX：03-3697-1660